

土地倉山・金凍山

大竹 幹衛

■山行年月日:2022年3月12日

■メンバー:小沼充範 大竹尚子
大竹幹衛

■コースタイム:柴倉集落 7:35～土地倉山 10:31～金凍山 12:15～柴倉 15:32

金凍山は金山町の会越国境、会津百名山、国土山の北東部にあります。新潟県の山です。標高 925m と大した山ではありませんが登山道はなく、どこから取り付いても遠い山です。行くとすれば、残雪期、阿賀町の柴倉集落から。と前から決めていました。以前、窪田と小沼が秋季に柴倉沢から登っています。

当初は2月26日に行く予定であったが2回延期して今回となりました。山はいい天気でない面白くありません。早朝、自宅を車で出発し柴倉集落に入る。山スキーとワカンの装備で7:35、行動開始。しばらく林道を進が左側の岩壁の上からの雪崩で林道はデブリで斜めに埋まっている。右側は沢まで急斜面で落ちている。スキーを手を持ってツボ足で慎



うねった雪稜を辿って金凍山へ

重に進む。3回目のデブリは長いのでスキーはザックのサイドにくくりつけた。今回の核心部であった。送電線鉄塔の手前で左側の斜面に取り付く。しばらく電光型に登って行くと土地倉山へと続く尾根に乗る。回りには立派なブナが出てきた。私のシールが剥がれてしまい、ワカンに履き替えてスキーはデポした。二人の後を必死になって追いかけてましたが、やはりスキーの方が速いです。稜線に登り詰め、目の前の土地倉山に向かい10:31山頂着。東側、弓なりの稜線上に金凍山が見えるがかなり遠い。左側の雪庇に注意しつつ杉と松と雑木林の稜線を進む。小さなアップダウンを繰り返し、稜線が左側にカーブする所で一本立てる。左側の斜面が沢底まで純白の美しい雪面を見せている。まもなく雪庇が崩壊して雪崩であろう。そのため、木は大きく成長できずに柴となり今は雪の下に埋もれている。土地倉山の右に会津百名山の太倉山 950m が見える。狭い雪稜を辿り、金凍山、山頂 12:15 着。東側にひと際高い山が黒男山、その北側に夜鷹山、台倉山、南側には鍋倉山、沼ノ峠山、井戸小屋山、等々が見えた。

帰路は往路を忠実に辿る。ブナ林の斜面は雪がザケて斜滑降で滑り降りた。林道は緩い下り坂で結構、滑った。例のデブリの所はいつ雪崩が来るか不安で怖い思いをした。車、15:32 到着。登りがいいのあるいい山でした。